

# 園長便り

第 10 号

H. 31. 3. 4 発行

土佐幼稚園

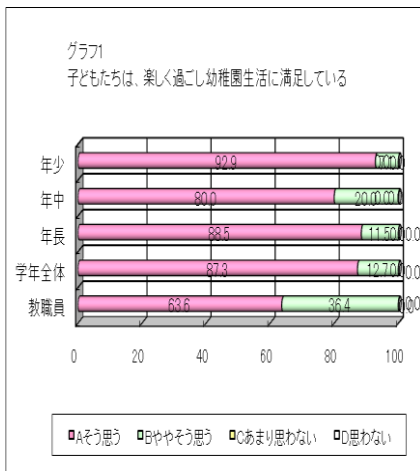
園長 中尾 文宏

## 幼稚園評価アンケートから (1)

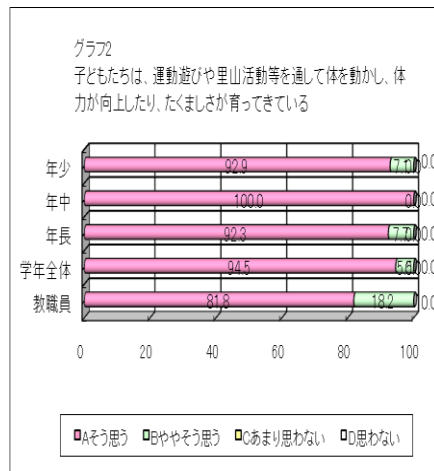
アンケートにご協力をいただきありがとうございました。本年度は保護者、教職員を対象に実施しました。複数項目のアンケートでお手数をおかけしました。ご協力に感謝します。

保護者と幼稚園職員が同じ内容のアンケートを行いました。全体的に職員は厳しく評価する傾向が見てとれます。改善すべき点をそれぞれが感じているようです。

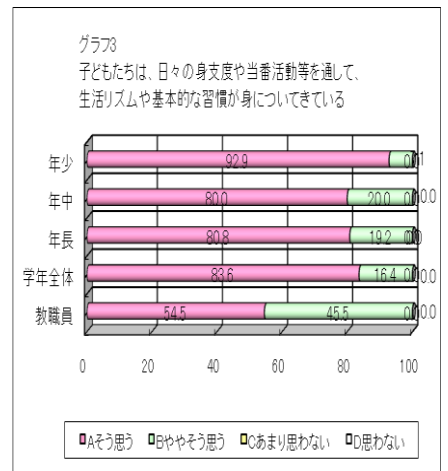
項目毎の結果と今後取り組んでいくべきこと等についてコメントしています。



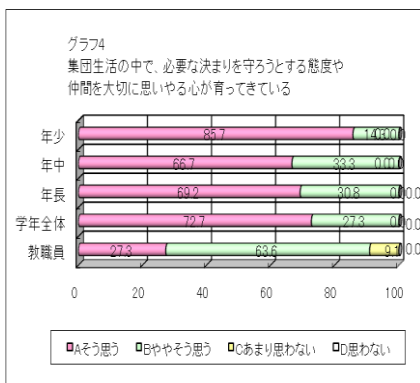
肯定評価が100%となっている。子どもたちが満足な状態と評価できるが、より一層園児が楽しく安心して過ごせる園を目指したい。



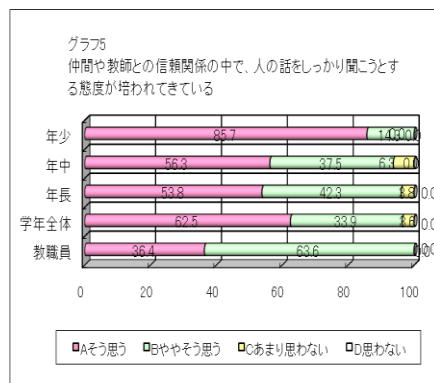
項目の中で強い肯定の割合が最も高い。器具、用具、遊具を使った運動や里山活動を計画的に実施してきた成果と言える。



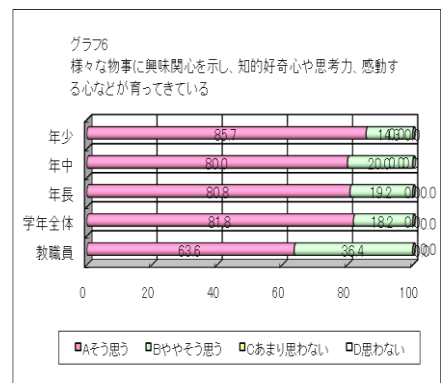
係や当番、行事の司会や運営等、多くの場面で子どもたちが活躍する機会をつくり、自分でできることは自分でする力を育成していきたい。



強い肯定の割合は決して高くはない。職員の評価も指導の不十分さを示している。決まりを尊重し相手の言動を認め合う態度や心身の育成により一層、力を注ぐ。

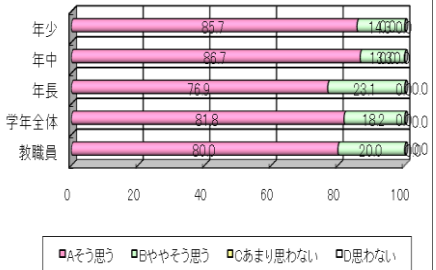


話を目と耳と心で聴くことを多くの機会を捉えて指導してきた。職員で協議し、具体策を講じてきたが不十分の評価もあり、重点指導項目の一つとして取り組んでいく。



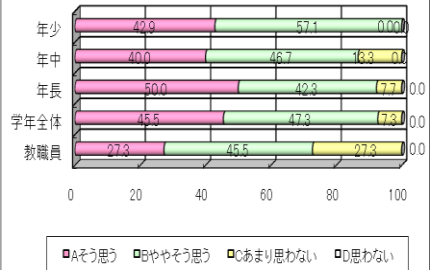
農園活動、生物の飼育、植物栽培等とともに校外活動、地域との交流、また本物の演劇や音楽にふれ合う機会、読み聞かせにも取り組んできた。実体験を充実させたい。

グラフ7  
子どもたちは、自然に触れる場面や様々な制作活動、絵画活動等を通して自由な表現力や感性を身につけている



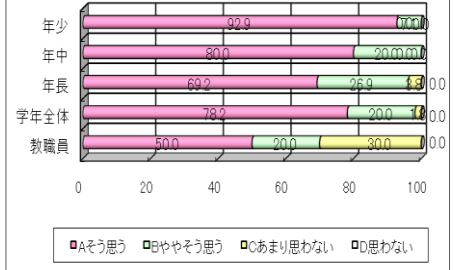
強い肯定評価の割合が高い。自然体験や諸行事に合わせた制作活動、園児の発想を活かした造形、また講師による絵画等、今後も表現力を育成していきたい

グラフ8  
子どもたちは、家族や近所の人、教職員などに、よく挨拶をしている



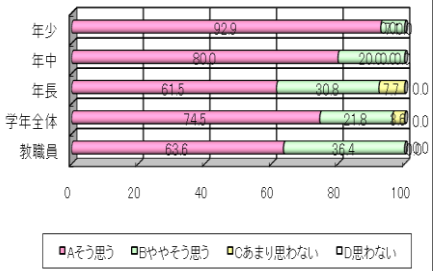
評価項目の中で最も低い評価となっている。職員も3分の1が不十分と評価している。挨拶が日常の中で自然にできるよう、重点的に取り組んでいく。

グラフ9  
幼稚園は、教育目標や指導の重点について、保護者にわかりやすく伝えている



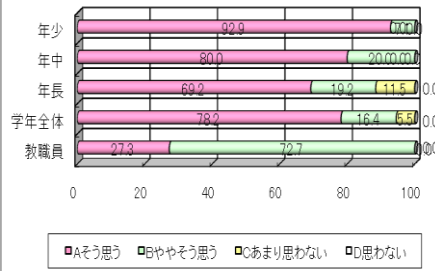
園便りや学級通信により、行事のねらいや目標を伝えてきたが、園全体としての教育目標等を伝える機会は少なかった。明確に伝える工夫をする

グラフ10  
幼稚園は、子どもたちの生活や活動の様子を、日々の送迎のときや通信、懇談会等で保護者に伝えている



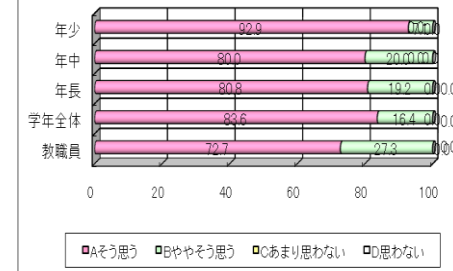
学級通信は、一人ひとりの様子を丁寧に伝えてきたと思うが、不十分さがあつたと反省している。園長便り等により全体的な様子を知らせるよう努めたい。

グラフ11  
幼稚園は、保護者の悩みや相談に適切に対応してくれている



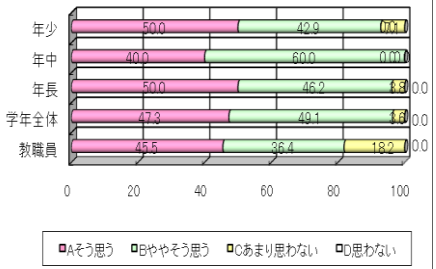
職員は親育ち支援の研修等も行っているが、不十分さがあつたようだ。敷居を低くして保護者に寄り添った園作りに取り組んでいく。

グラフ12  
幼稚園は、見守りや避難訓練等を通して、園児の安全安心な生活に努めている



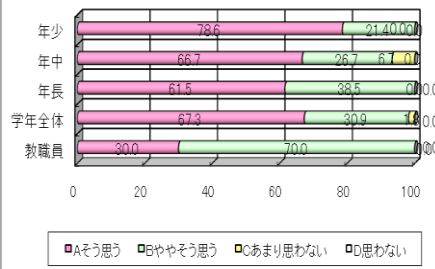
肯定評価の割合が高い。地震、火災、Jアラート等の避難訓練は様々な場面を想定して実施してきた。常に園児の活動を見守る体制作りに努める。

グラフ13  
保護者は、後援会活動に積極的にかかわり、互いに親しく交流できている



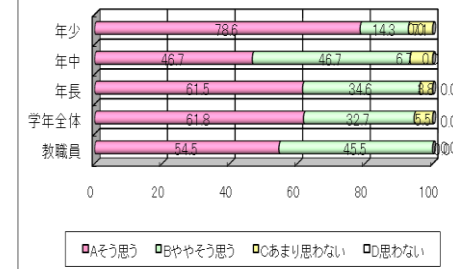
後援会活動は、保護者が企画運営し、諸行事への参加率も大変高いが、評価はやや厳しくなっている。積極的に参加ができる環境を整えていきたい。

グラフ14  
保護者は、本園の教育活動に満足している



不満足な部分に耳を傾け、意見や要望をうかがう場面を意図的につくっていききたい。職員から声をかけることに努め忌憚のない意見が聞かれるようにする。

グラフ15  
保護者は、幼稚園の教育活動に協力的にかかわっている



否定的評価が全クラスにある保護者がかかわる行事は複数あり、参加率や協力の度合いも高いと感じていたが、皆がかかわりやすいよう工夫していきたい。